

# 私たちの町内会 vol.37

## 大亀町内会

人口 86人  
世帯数 24世帯

会長  
佐藤 清さん



大亀地区には、大亀の由来となったといわれる亀石や県の天然記念物に指定されているアカガシ、延喜式内社の鹿島天足別神社など、歴史を感じるものが大亀山に集まっています。

鹿島天足別神社のそばには、樹齢500〜600年といわれるアカガシがあり、高さ約20メートル、幹の周囲は約6メートルで、富谷でも珍しい古木とされています。亀石も神社のそばにあり、亀の形に似た大石で、大亀山には同じような石が多く存在します。

大亀の歴史が綴られた大亀御風土記には、昔、干ばつが続いたときには雨乞いのため、黒川地区から大亀の神社に集まったとの記録も記されています。

また、大亀山の頂上でも水が湧くなど、昔からきれいな水が豊富にある地区です。昔、沼田川付近には、約100件の屋敷があったともいわれています。

4月の第3日曜日には、五穀豊穣を祈願する榊流永代神楽が奉納されました。江戸時代から脈々と受け継がれてきたこの神楽は、言葉や歌詞を用いず太鼓と笛の調べにあわせて表現する優雅な舞が特徴です。

五穀豊穣を願う住民の強い思いが、伝統と歴史ある神楽をつないできたのかなと感じます。大亀地区は子どもが少ないので、後継者不足が最大の課題です。

神社を中心に発展してきたと思われる大亀地区は、まとまりのある町内会です。高齢化など課題はありますが、バーベキューなどをしながら親睦を図り、町内会活動をしていきたいと思っています。